

佐賀県適正服薬推進事業 アンケート調査分析報告書

適正服薬推進事業アンケート調査票



お薬に関するアンケート調査

次の問1～15の質問について当てはまるものに「○」をつけてお答えください。 0000000000

問1. 「重複服薬」についてご存知ですか？

- ① よく知っている ② 大体知っている ③ 言葉は聞いたことがある ④ 知らない

問2. 「重複服薬」について知っている内容がありますか？（複数回答可）

- ① 一つの病気で複数の病院から同じ効果の薬が処方されることがある
② 複数の病気で同じ効果の薬が処方されることがある
③ 同じ効果の薬の服用により健康への悪影響（副作用）があることがある
④ 該当するからと言って処方内容に必ず問題があるわけではない
⑤ 該当するからと言って自分で薬を中断してはいけない

問3. 「多剤投与」についてご存知ですか？

- ① よく知っている ② 大体知っている ③ 言葉は聞いたことがある ④ 知らない

問4. 「多剤投与」について知っている内容がありますか？（複数回答可）

- ① 複数の病気で複数の病院を受診することによって薬が多くなる
② 一般的に6種類以上の飲み薬の服用には注意が必要である
③ 薬の処方が多いことにより健康への悪影響（副作用）があることがある
④ 該当するからと言って処方内容に必ず問題があるわけではない
⑤ 該当するからと言って自分で薬を中断してはいけない

問5. 「重複服薬」・「多剤投与」について、まず誰に相談しますか？（主なものを1つだけ選択）

- ① 医師 ② 薬剤師 ③ 看護師 ④ その他（ ）

問6. 「重複服薬」・「多剤投与」について、病院や薬局等で今までに質問・相談したことはありますか？（複数回答可）

- ① 医師に質問・相談した ② 薬剤師に質問・相談した
③ 医師・薬剤師以外に質問・相談した ④ 相談したことがない

問7. 身近にお薬の相談ができる病院や薬局はありますか？（複数回答可）

- ① かかりつけ医がいる ② かかりつけ薬局がある
③ かかりつけはないが、身近に相談する病院や薬局はある ④ ない

問8. 今回届いたお薬相談通知書の内容で病院あるいは薬局に相談に行きましたか？（または行く予定ですか？）

- ① 相談に行った ② 次回受診の時に相談する予定 ③ 相談する予定はない
④ その他（ ）

画面へ続く

問9. (問8で「相談する予定がない」と回答した場合) その理由を教えてください。

- ① 日頃から医師に相談した上で薬を服用しているため ② 医師などに相談することが気が引けるため
③ 相談の仕方が分からないため ④ 相談する必要性を感じないため
⑤ その他（ ）

問10. 飲んでいるお薬について、不安なことや疑問がありますか？

- ① はい ② いいえ

問11. (問10で「はい」と回答した場合) その内容を教えてください。

自由記述

問12. お薬手帳の活用状況について当てはまるものはなんですか？（複数回答可）

- ① お薬手帳を所有しており、頻繁に利用している
② お薬手帳を一冊にまとめている
③ 病院や薬局にお薬手帳を持参し、医師や薬剤師と共有している
④ お薬手帳の情報を定期的に確認し、自身の健康管理に活用している
⑤ 初めての医療機関など、普段と異なる医療機関を受診する際に持参している
⑥ どれもあてはまらない

問13. マイナンバーカードを保険証利用する際に医師や薬剤師に対して薬剤情報等の情報提供に同意していますか？

- ① 積極的に同意している ② 必要に応じて同意している ③ 同意していない
④ マイナンバーカードを保険証利用していない ⑤ わからない

問14. 薬剤師に期待する役割で当てはまるものはなんですか？（複数回答可）

- ① 薬の専門知識と情報提供 ② 薬の適正使用の推進（薬の飲み方などの支援） ③ 健康相談
④ 薬物治療の管理（服薬情報の継続的管理及び医師との調整） ⑤ 健康教育と啓発活動
⑥ その他（ ）

問15. 今後のアンケートの回答方法について、回答しやすい形式を教えてください。

- ① 紙媒体の形式（今回同様） ② オンライン形式（スマートフォン等でQRコードを読み込んで回答）
③ 紙媒体・オンラインのどちらでも構わない

ご協力いただき、ありがとうございました。

返信用封筒にいれて郵便ポストに投函してください。

回答期限：令和5年9月末まで

佐賀県国民健康保険課

回答者数：383人（回答率26%）

① 重複・多剤服薬の認知度

- 重複服薬について、よく知っている人は17%、大体知っている人は44%であり、全体の61%が認知している。
- 多剤投与については、よく知っている人は12%、大体知っている人は37%であり、全体の49%が認知している。

② 相談先の実態

- 重複服薬・多剤投与についてはじめの相談先として、医師が最も選択されており、63%が医師に、28%が薬剤師に相談することを選択している。
- また、今までの病院や薬局での質問や相談は、40%が医師に、31%が薬剤師に行い、42%が相談したことがないと回答している。
- 一方で、身近にお薬の相談ができる病院や薬局は80%の人がかかりつけ医がいると回答しており、62%がかかりつけ薬局があると回答している。

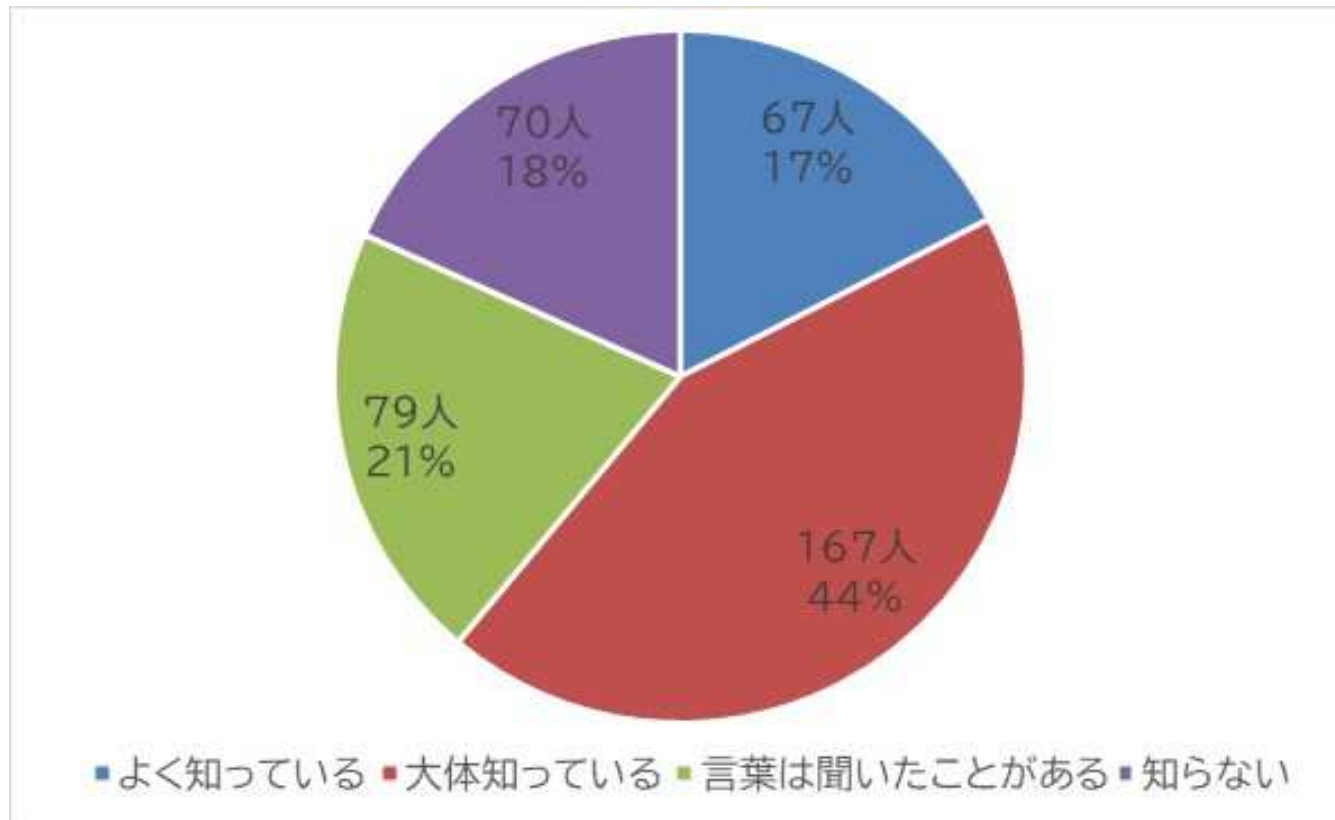
③ その他の注目すべきポイント

- 薬剤師に期待される役割として、薬の専門知識と情報提供が最も多く、65%の人が選択している。
- マイナンバーカードを保険証利用する際に薬剤情報等の情報提供に同意していると回答した人は、35%であった。
- 今回の通知を受けて全体の37%が相談に行ったまたは次回受診時に相談すると回答し、54%は相談する予定がないと回答している。

アンケート調査結果集計(設問1)

Q1. 重複服薬についてご存知ですか

①よく知っている ②大体知っている ③言葉は聞いたことがある ④知らない



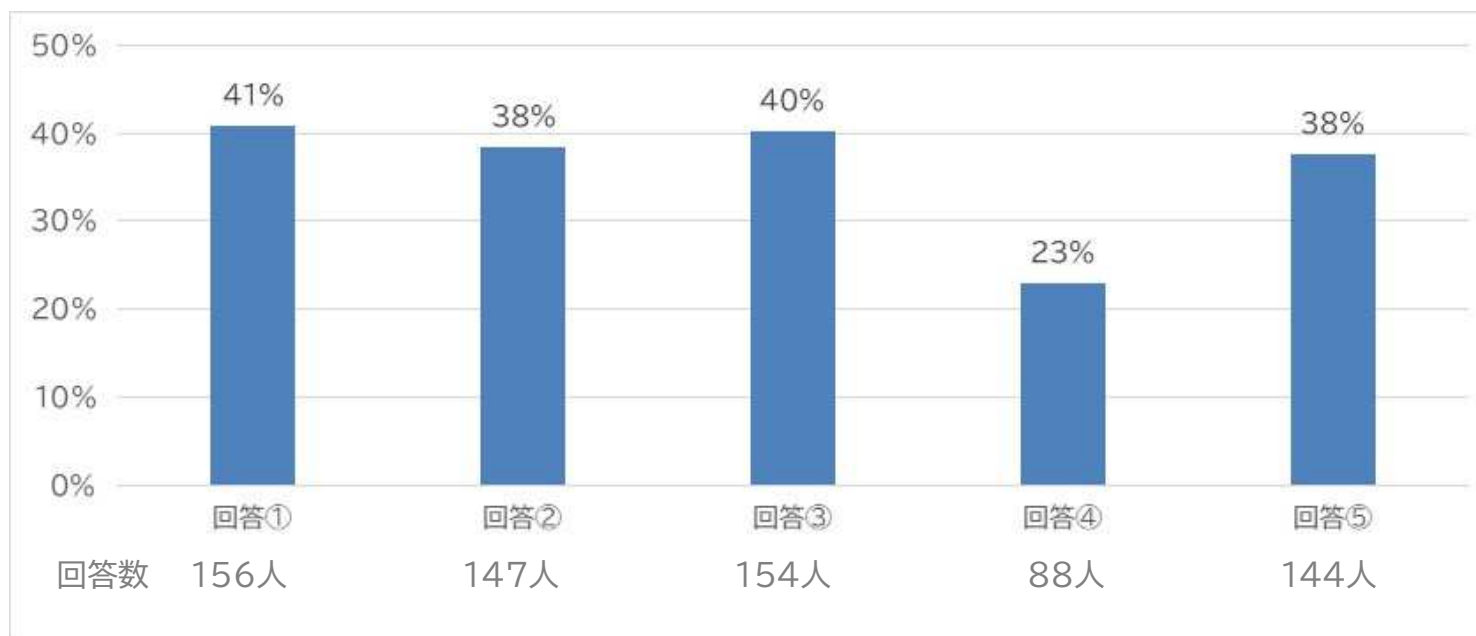
集計結果

- 「よく知っている(回答①)」と「大体知っている(回答②)」を合わせた割合が61%
- 「よく知っている(回答①)」と「知らない(回答④)」の割合が同じ水準

アンケート調査結果集計(設問2)

Q2. 「重複服薬」について知っている内容はありますか (複数回答可)

- ①一つの病気で複数の病院から同じ効果の薬が処方されることがある
- ②複数の病気で同じ効果の薬が処方されることがある
- ③同じ効果の薬の服用により健康への悪影響(副作用)があることがある
- ④該当するからと言って処方内容に必ず問題があるわけではない
- ⑤該当するからと言って自分で薬を中断してはいけない

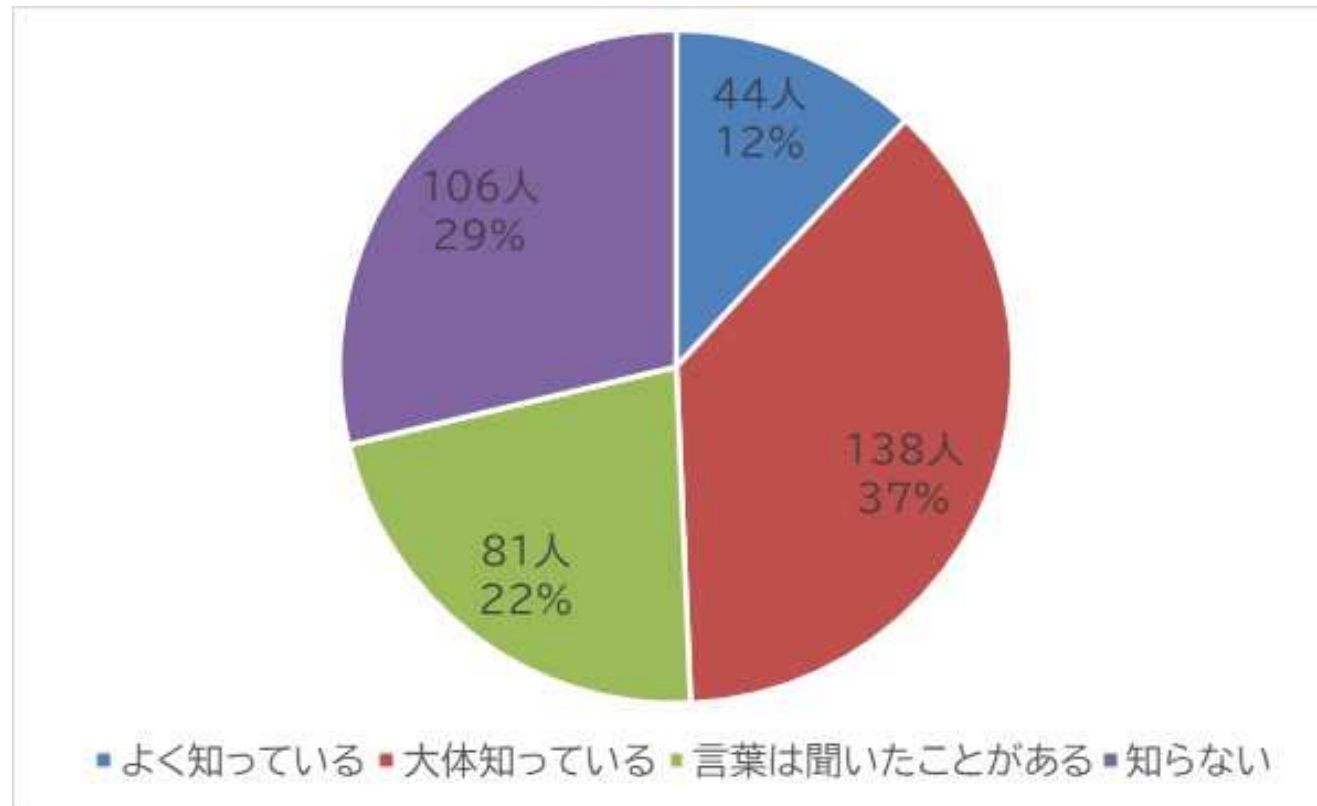


集計結果

- 各設問の認知度は総じて4割程度である中、唯一、「該当するからと言って処方内容に必ず問題があるわけではない(回答④)」の認知度が低い

Q3.「多剤投与」についてご存知ですか

①よく知っている ②大体知っている ③言葉は聞いたことがある ④知らない



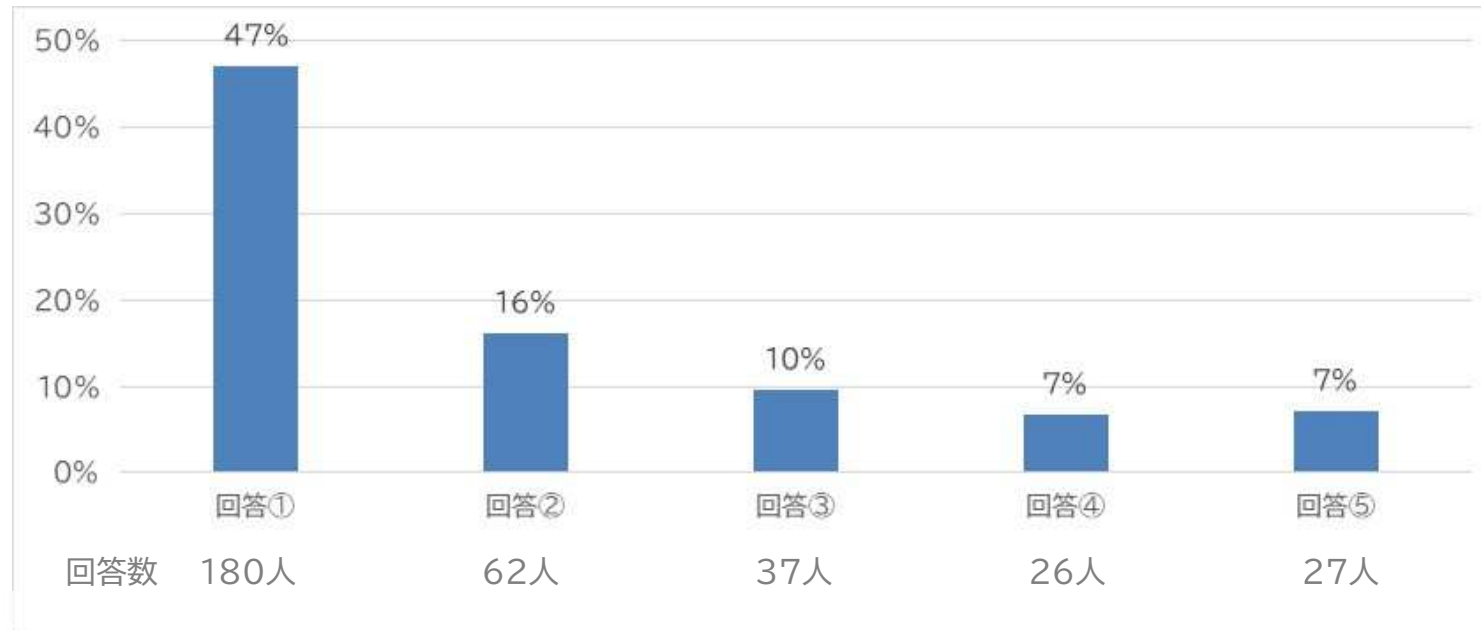
集計結果

- 「よく知っている(回答①)」「大体知っている(回答②)」の割合が49%
- 「知らない(回答④)」が29%を占めており、「重複服薬」よりも認知度が低い

アンケート調査結果集計(設問4)

Q4.「多剤投与」について知っている内容はありますか (複数回答可)

- ①複数の病気で複数の病院を受診することによって薬が多くなる
- ②一般的に6種類以上の飲み薬の服用には注意が必要である
- ③薬の処方が多いことにより健康への悪影響(副作用)があることがある
- ④該当するからと言って処方内容に必ず問題があるわけではない
- ⑤該当するからと言って自分で薬を中断してはいけない



集計結果

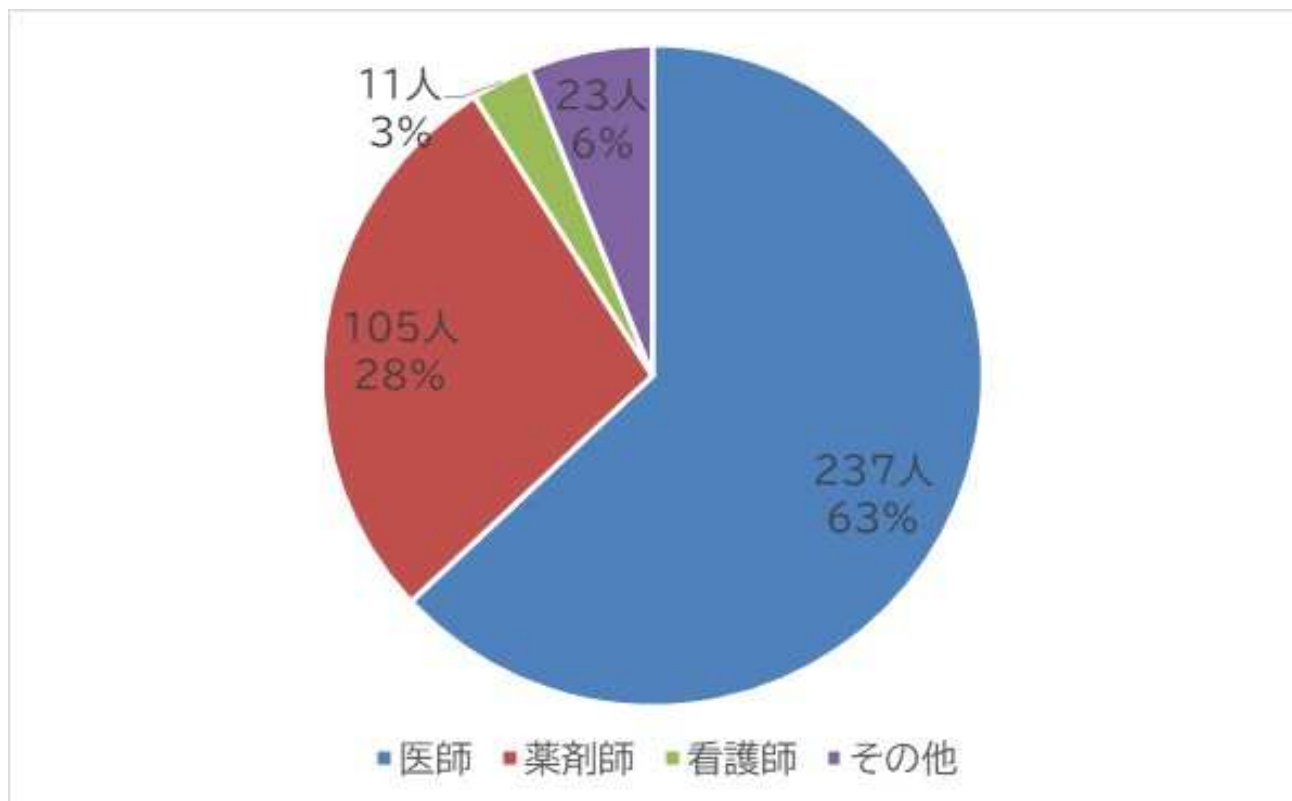
- 「複数の病気で複数の病院を受診することによって薬が多くなる(回答①)」以外の認知度は総じて低い
- 服薬リスク等を啓発する余地がまだ大きいことが推察できる

注:回答者383人の回答のうち、有効回答数は383件

アンケート調査結果集計(設問5)

Q5. 「重複服薬」・「多剤投与」について、まず誰に相談しますか

①医師 ②薬剤師 ③看護師 ④その他



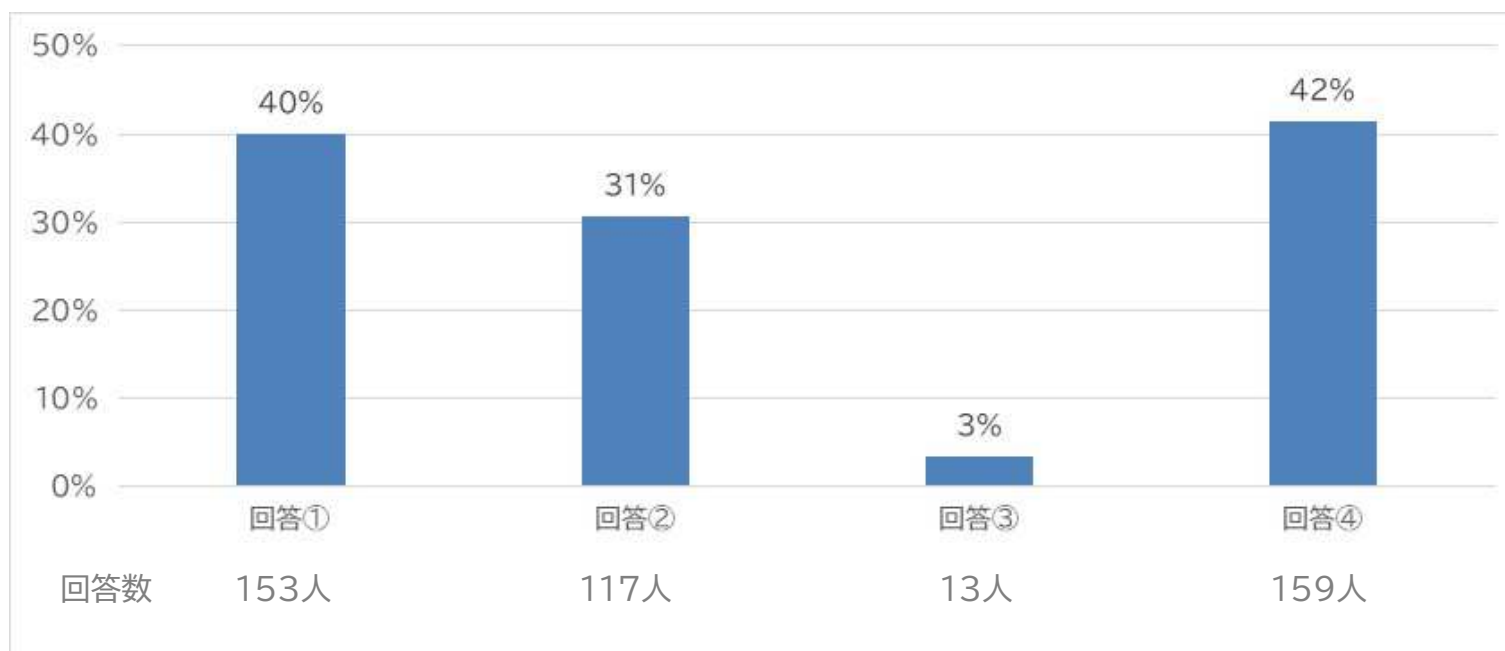
集計結果

- ・ 相談する相手は「医師(回答①)」が63%、薬剤師が28%
- ・ その他(回答④)」の内容としては、訪問看護師・支援員・グループホーム職員等

アンケート調査結果集計(設問6)

Q6. 「重複服薬」・「多剤投与」について、病院や薬局等で今までに質問・相談したことはありますか(複数回答可)

- ①医師に質問・相談した ②薬剤師に質問・相談した
③医師・薬剤師以外に質問・相談した ④相談したことがない



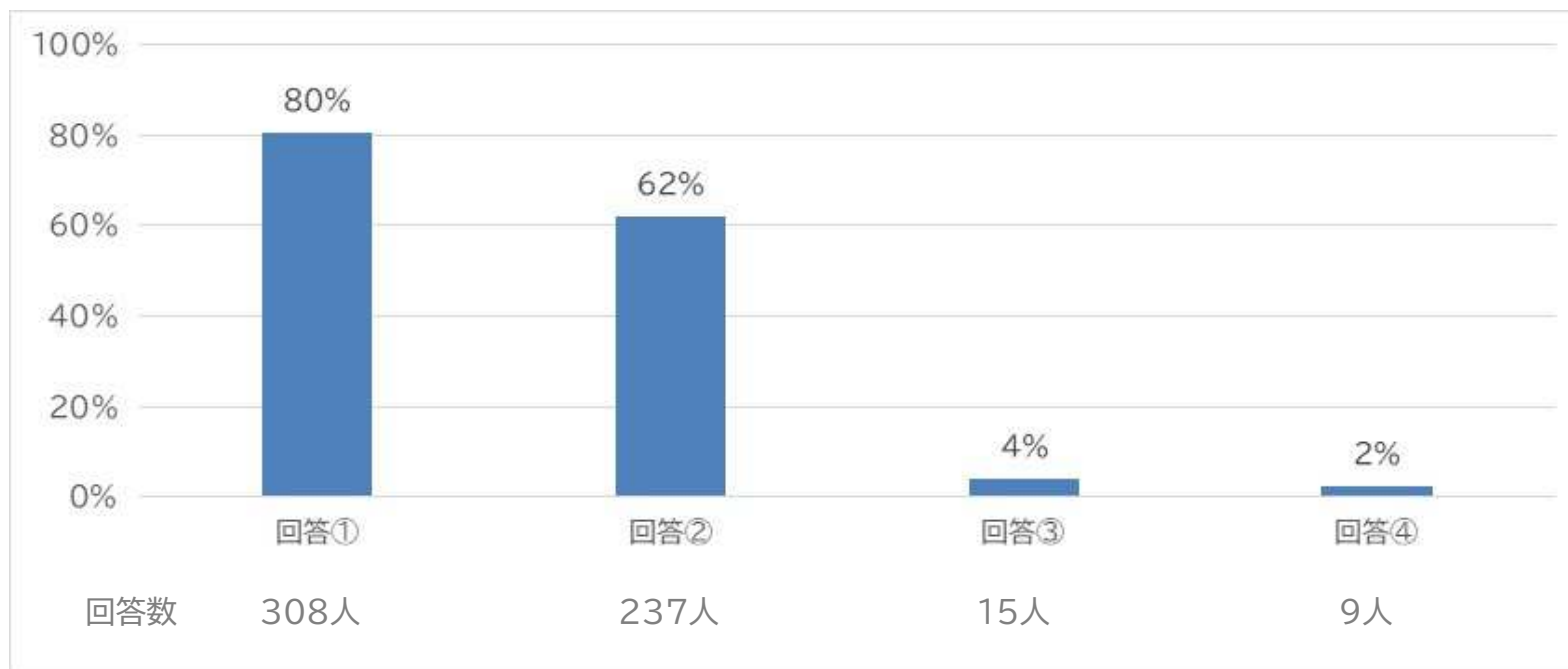
集計結果

- 「医師に質問・相談した(回答①)」が40%、「薬剤師に質問・相談した(回答②)」が31%であり、設問⑤の相談意向よりも実際に医師に相談した者の割合が低い
- 「相談したことがない(回答④)」の割合は42%

アンケート調査結果集計(設問7)

Q7. 身近にお薬の相談ができる病院や薬局はありますか(複数回答可)

- ①かかりつけ医がいる ②かかりつけ薬局がある
③かかりつけはないが、身近に相談する病院や薬局はある ④ない



集計結果

- 「相談できる先がない(回答④)」の割合は2%
- 「かかりつけ医がいる(回答①)」が80%、「かかりつけ薬局がある(回答②)」が62%であることから、両方を持っている被保険者も約4割程度存在すると推察できる

アンケート調査結果集計(設問8)

Q8. 今回届いたお薬相談通知書の内容で病院あるいは薬局に相談に行きましたか(または行く予定ですか)

①相談に行った ②次回受診の時に相談する予定 ③相談する予定はない ④その他



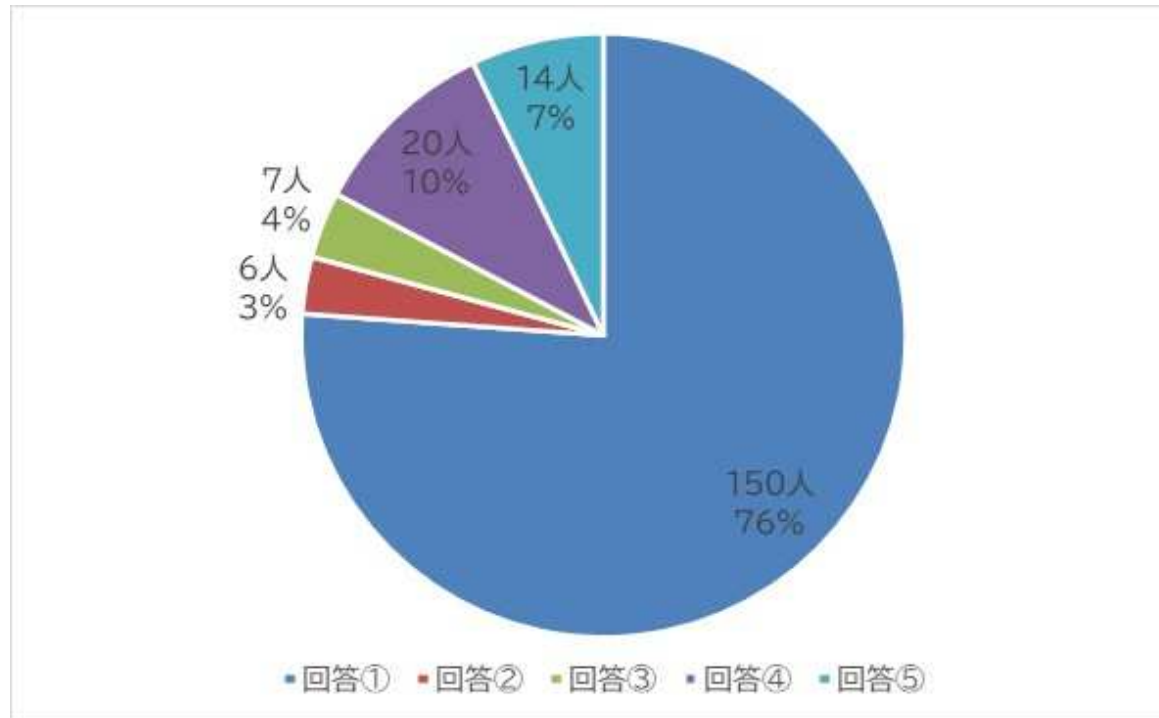
集計結果

- 「相談に行った(回答①)」が10%、「相談する予定(回答②)」が27%、また「相談する予定はない(回答③)」が54%
- 「その他」の内容としては、服用を既にやめている、以前に医師に相談した等

アンケート調査結果集計(設問9)

Q9. (問8で相談する予定がないと回答した場合)その理由を教えてください

- ①日頃から医師に相談した上で薬を服用しているため
②医師などに相談することが気が引けるため ③相談の仕方が分からないため
④相談する必要性を感じないため ⑤その他 ()



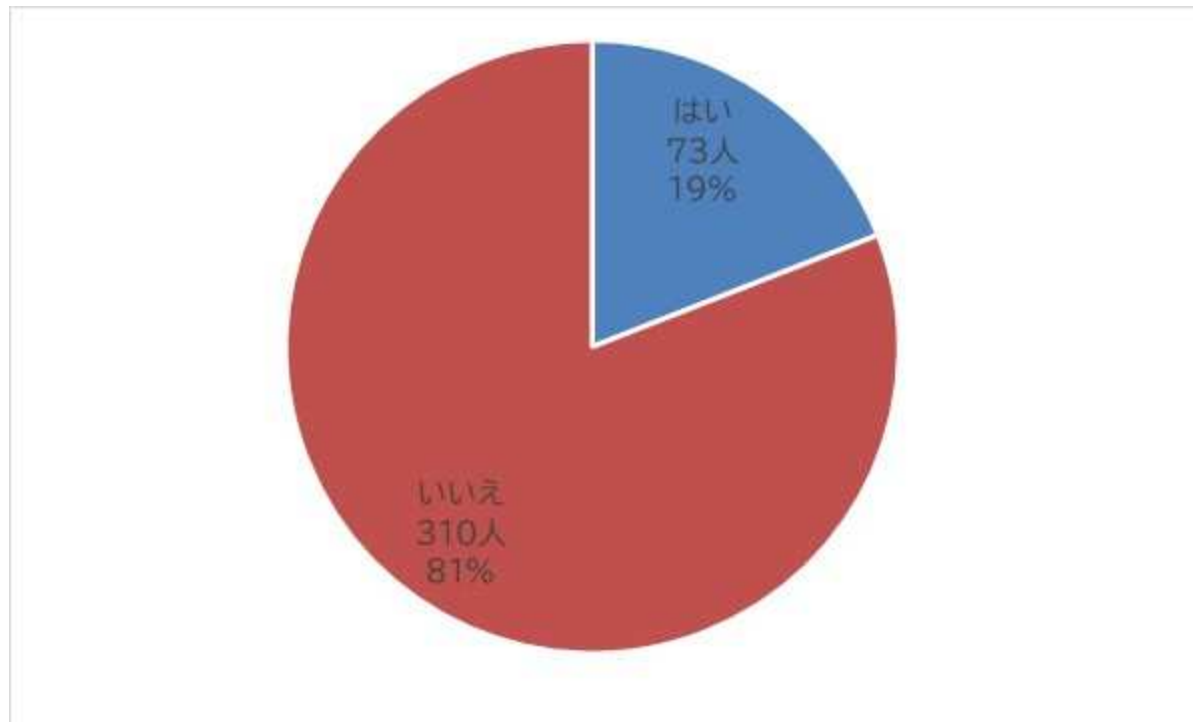
集計結果

- 相談する予定がない理由として、「日頃から医師に相談した上で薬を服用しているため(回答①)」と回答した者が76%
- 「相談する必要性を感じないため(回答④)」と回答したものが10%

アンケート調査結果集計(設問10)

Q10. 飲んでいるお薬について、不安なことや疑問がありますか

①はい ②いいえ



集計結果

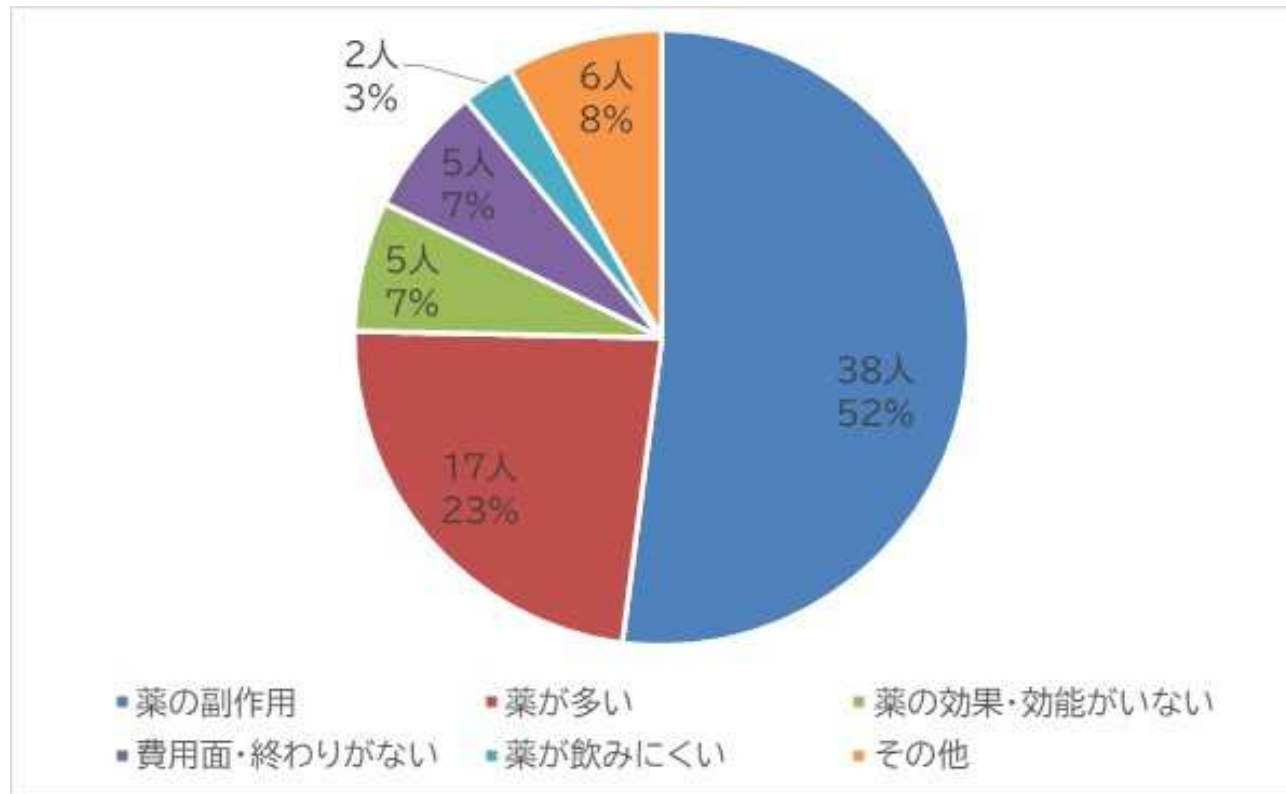
- 薬について不安・疑問があると感じているのは19%

アンケート調査結果集計(設問11)

Q11. (問10で「はい」と回答した場合) その理由を教えてください

回答は自由記述

※自由記述を分類して示しています

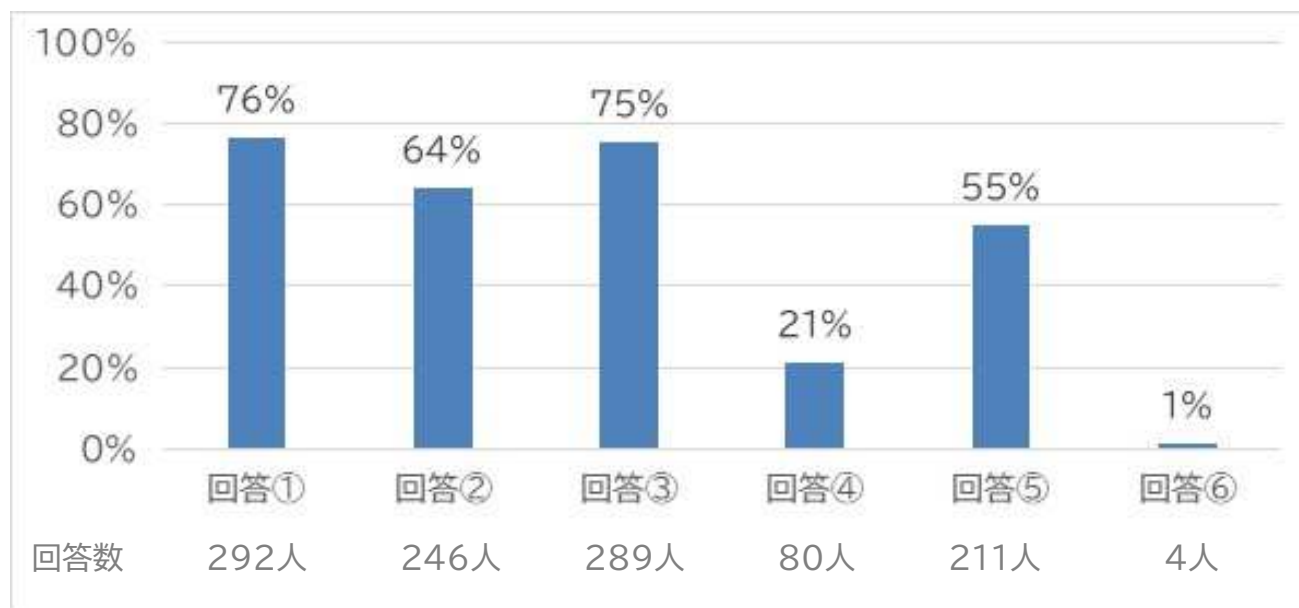


集計結果

- 薬に関する不安・疑問のうち、薬の副作用に関するものが52%
- 薬が多いことに対する不安・疑問を持っている者の割合は21%

Q12. お薬手帳の活用状況について当てはまるものはなんですか(複数回答可)

- ①お薬手帳を所有しており、頻繁に利用している
- ②お薬手帳を一冊にまとめている
- ③病院や薬局にお薬手帳を持参し、医師や薬剤師と共有している
- ④お薬手帳の情報を定期的に確認し、自身の健康管理に活用している
- ⑤初めての医療機関など、普段と異なる医療機関に受診する際に持参している
- ⑥どれもあてはまらない



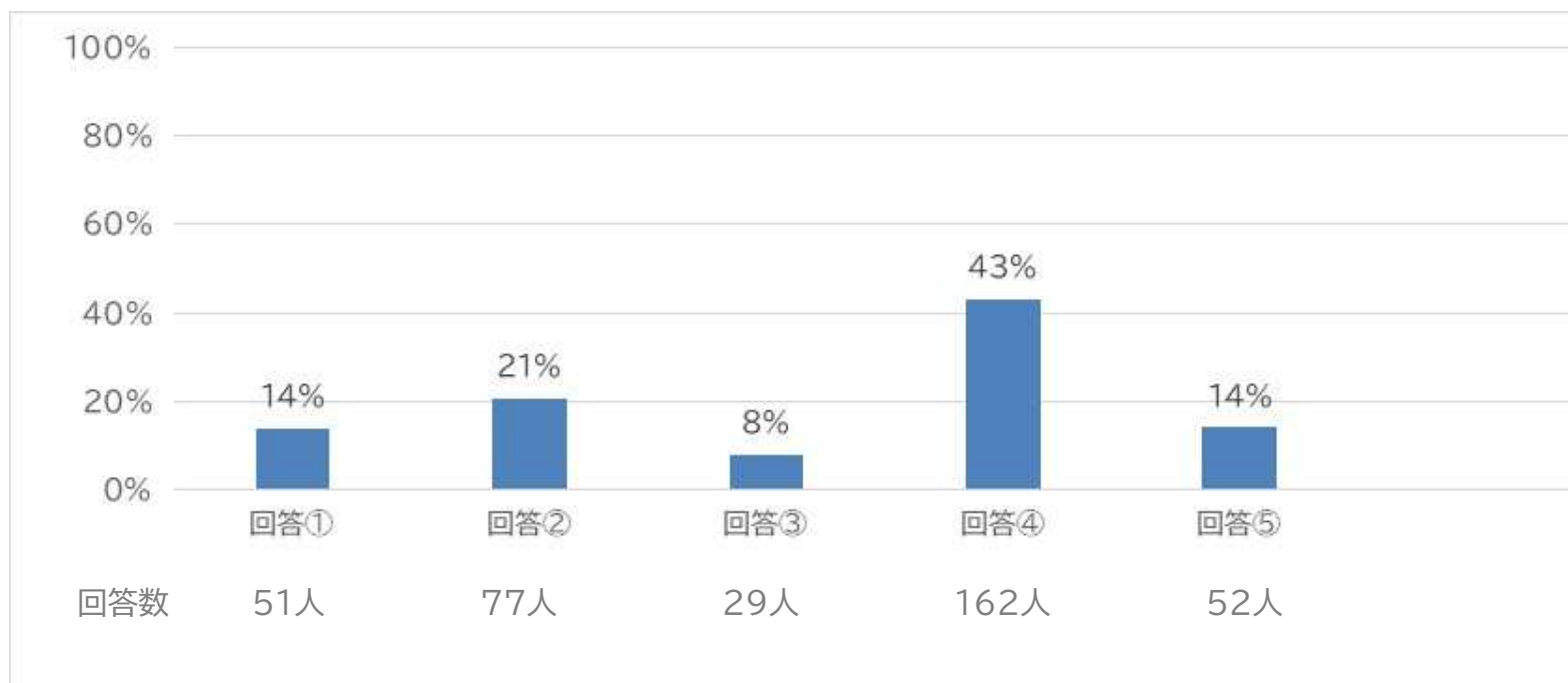
集計結果

- 「お薬手帳の情報を定期的に確認し、自身の健康管理に活用している(回答④)」等の積極的にお薬手帳を活用している者の割合は21%と低い

アンケート調査結果集計(設問13)

Q13. マイナンバーカードを保険証利用する際に医師や薬剤師に対して薬剤情報等の情報提供に同意していますか

①積極的に同意している ②必要に応じて同意している ③同意していない ④マイナンバーカードを保険証利用していない ⑤わからない

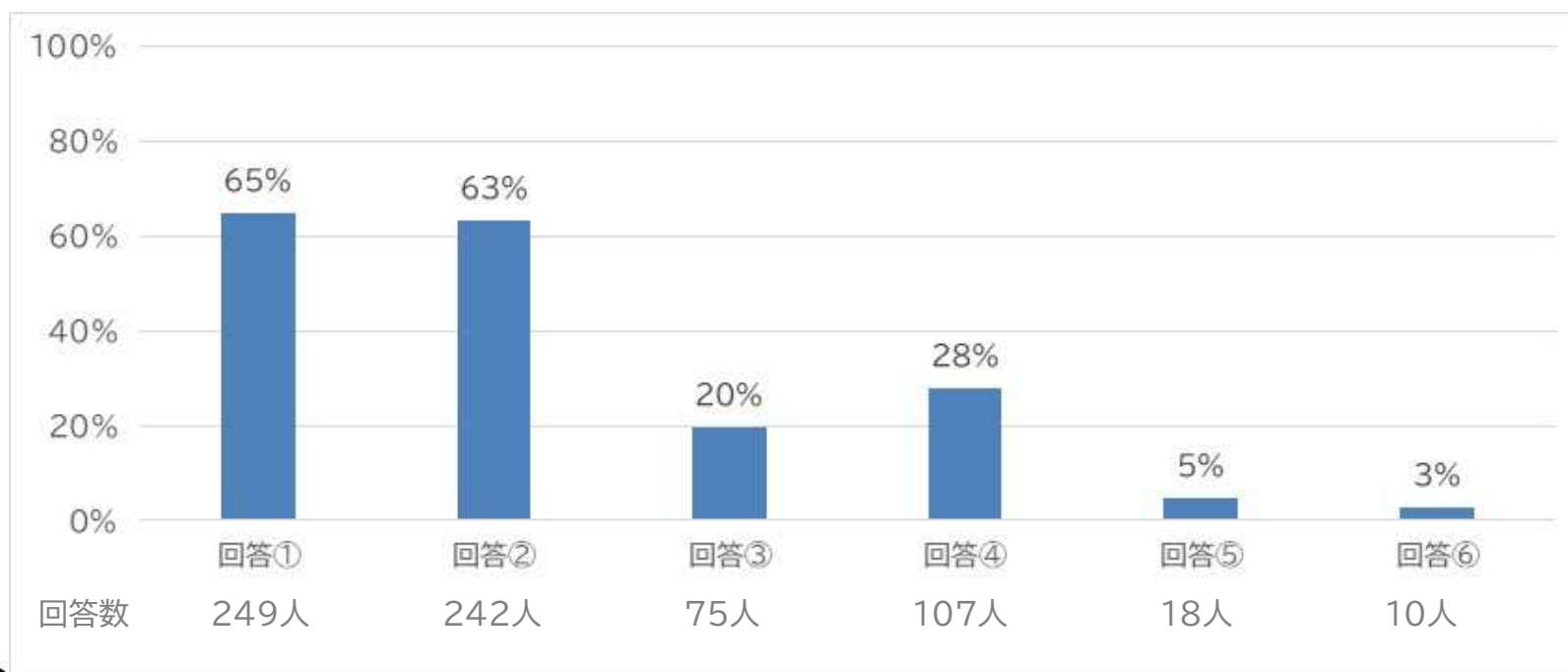


集計結果

- 「積極的に同意している(回答①)」の割合は全体で14%にとどまっており、「マイナンバーカードを保険証利用していない(回答④)」の割合は全体で43%

Q14. 薬剤師に期待する役割で当てはまるものはなんですか (複数回答可)

①薬の専門知識と情報提供 ②薬の適正使用の推進(薬の飲み方などの支援) ③健康相談 ④薬物治療の管理(服薬情報の継続的管理及び医師との調整) ⑤健康教育と啓発活動 ⑥その他

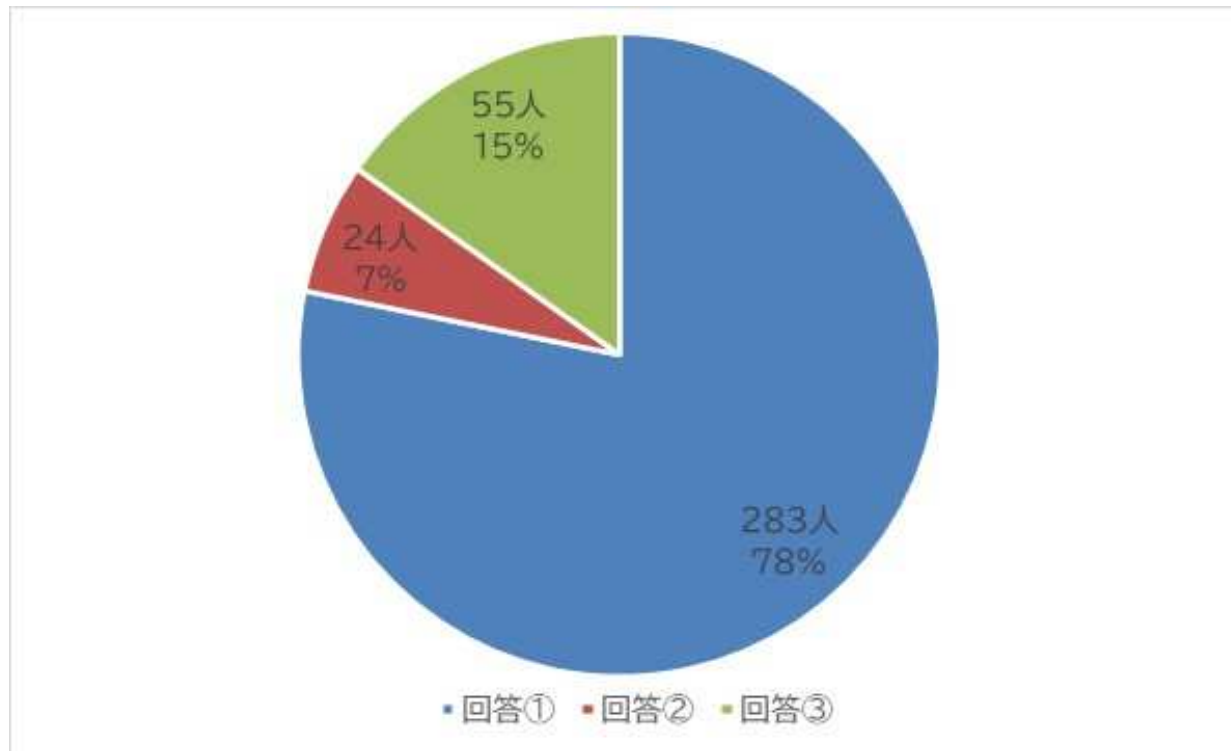


集計結果

- 薬剤師の役割として3人に2人が期待している内容とは、「薬の専門知識と情報提供(回答①)」と「薬の適正使用の推進(薬の飲み方などの支援)(回答②)」
- 「その他(回答⑥)」の内容としては、医師との積極的な情報連携等

Q15.今後のアンケートの回答方法について、回答しやすい形式を教えてください

- ①紙媒体の形式(今回同様) ②オンライン形式(スマートフォン等でQRコードを読み込んで回答) ③紙媒体・オンラインのどちらでも構わない



集計結果

- アンケートへの回答方法として「紙媒体の形式(回答①)」を希望する割合が78%
- 「オンライン形式(スマートフォン等でQRコードを読み込んで回答) (回答②)」と「紙媒体・オンラインどちらでもいい(回答③)」を合わせても22%